南串中だより

本日は八月九日（日）です。令和八年度の夏休みは、四十五日間といつもより長い夏休みですが、今日で二十三日目、ちょうど折り返し地点となります。長く感じたか、短く感じたかは前号で述べたとおり人それぞれかと思います。私は個人的に長く感じましたが、仕事は進んでいないという感じです。

さて、本日八月九日は長崎県では**県民祈りの日**として県内ほとんどの公立学校が全校登校日として、原爆で亡くなられた方を追悼する行事が行われます。**南串中だより第九号**では、そのことにも触れていきます。

夏休み期間中も大活躍した南中生

夏休み期間中の本日まで、南中生たちが、いろいろ活躍してくれましたので、紹介します。

七月二十五日（土）～二十七日（月）に開催された**長崎県中学校総合体育大会（県中総体）**です。これまでも紹介する機会は多かったのですが、改めて陸上競技、軟式野球競技、バレーボール競技（男子）に南中生が出場しました。私は今年度**雲仙市中体連副会長**としていろいろな競技の雲仙市代表チームの激励をする立場でもあったのですが、南中生が出場する競技に全て足を運ぶことができました。陸上競技部は、表彰される結果までは残せなかったものの、私が南中生たちの表情を見たとき、**みんなが充実した表情をしていた**ことがとても印象に残っています。おそらく満足のいく結果またはそれに近い結果が出せたのかなと感じました。また、**同じ雲仙市さらには島原半島のチームを応援**

している姿はとてもさわやかで、好感がもてました。三年生もまだ引退ではなく、次の大会に向けてがんばるとのことで、今後の活躍を期待します。

軟式野球部は、快進撃でした。一回戦**対若松中（新上五島町）４対３**、二回戦**対西彼中（西海市）３対２**、準決勝**対島原ＢＢＣ（地域クラブ代表）２対１**と大接戦しかもすべてサヨナラ勝ちで**九州大会出場権を獲得**し、決勝戦**対相浦中（佐世保市）も３対４**で敗れたものの見事に**準優勝**でした。

バレーボール競技男子は**ＶＣ雲仙（地域クラブ代表）**というチームで南中生は出場し、一回戦**対川棚中（東彼杵郡）２対０**、二回戦**対吾妻中（雲仙市）２対０**、準決勝対**郷ノ浦中（壱岐市）２対０**と第二シードの力を発揮し、見事**九州大会出場権を獲得**し、決勝戦**対ＩＵＫ（地域クラブ代表）には０対２**で敗れたものの**準優勝**という立派な成績でした。

スポーツ以外にも、七月二十九日（水）に開催された**第七十六回『社会を明るくする運動』第十九回雲仙市中学生弁論大会**が開催され、南中二年の**小玉美希乃さん**が出場しました。**あいさつがつむぐ人との輪**というテーマで弁論を述べ、**優秀賞（教育長賞）**を受賞しました。

さらには、八月二日（日）に開催された**長崎県吹奏楽コンクール大会**において中地区代表として南中二年の**岡瑚華さん**が所属している、**小浜中学校吹奏楽部ＵＪＢ（地域クラブ）**が出場し、**最優秀賞を受賞し、九州大会に出場する**こととなりました。

軟式野球部とＶＣ雲仙（地域クラブ）は八月四日（火）から**鹿児島県で開催された九州大会に出場し、軟式野球部は初戦敗退、ＶＣ雲仙は全国大会代表決定戦で敗れた**ものの、両チームとも九州の舞台で立派に戦ってきました。

もっと詳細を記載したいのですが、詳細は実際に**出場した南中生やその保護者の皆様に聞いていただければ幸いです。**

また、軟式野球とバレーボール男子の九州大会出場記念横断幕を**南串中学校同窓会**からも寄贈いただきました。本当に感謝です。これからも同窓会の皆様におかれましては、南中生の活躍に期待していただければと思います。

長くなりましたが、夏休み前半戦だけでもこれだけ南中生が活躍してくれました。地域の皆様にも明るい話題が届けられたのではないかなと思っております。私だけではなく、南中職員も心から応援していました。こんな**幸せ**な時間が多く過ごせたらなと改めて思った次第です。

同窓会からです。ありがとうございました。

平和集会

冒頭にも記載しましたが、本日は**県民祈りの日**で、本校も**全校登校日**としております。もちろん**平和集会**も行います。実行委員が中心となって集会を行うのですが、本日はそのようすは記載できませんが、私のあいさつを紹介します。

○今日、八月九日は「長崎原爆の日」、そして長崎県民にとって大切な「県民祈りの日」です。今から八十一年前「一九四五年八月九日、午前十一時二分」長崎の街に一発の原子爆弾が落とされ、一瞬にして多くの尊い命が奪われました。

○六月に当時三歳で被爆された松本様を講師にお招きして、被爆体験講話を行ったことは覚えていますか？みなさんは、あの時のお話をどのような気持ちで聴いていたでしょうか？

○実際に被爆を体験された方の言葉には、教科書だけでは伝わらない、家族を失った悲しみやそのあとの苦しみ、そして命の重みが込められていたと私は思います。

○長崎県に生きる私たちにとって、この歴史は決して「遠い昔の出来事」ではありません。今私たちがこうして南串中学校に通い、友だちと笑い合い、勉強や部活動などに打ち込めるこの日常。これは当たり前のものではなく、あの凄惨な過去の上に、多くの人々の「平和への願い」があって、奇跡的につながれてきた命のバトンであることは決して忘れてはならない。

○しかし、一歩日本を飛び出し、世界に目を向けて」というテーマで平和新聞づくりを取り組んだのでわかるかと思いますが、今この瞬間にも、地球のどこかで戦争や紛争が起き、罪のない子どもたちがおびえ、傷ついている現実もあります。命をなくすケースまである。平和な日常は世界中の誰に対しても平等に与えられているわけではない現実を私たちは知らなければなりません。今日はそのための平和集会でもあります。

○では、私たち中学生に、今できることは何でしょうか。

○「世界から戦争をなくす」と言うと、あまりにも大きすぎて、自分には何もできないと思ってしまうかもしれません。けれど、平和の第一歩は、皆さんのすぐ目の前、この南串中学校の教室の中や、毎日の生活の中にあります。

○自分の周りにいる友だちの気持ちを想像してみること。自分と違う意見をもつ人の言葉に耳を傾けること。誰かが困っていたら、そっと手を差し伸べ、傷つける言葉を使わないこと。

○皆さんが教室の中で友だちを大切にすることは、世界の平和を守ることに絶対繋がります。身近な人を大切にできない人に、世界の平和を語ることはできません。

○長崎で学ぶ南中生だからこそ、あの原爆の歴史を他人事にせず、しっかりと心に刻んでほしい。そして、世界で起きていることに広く目を向けながら、まずは自分の隣にいる友だちを大切にできるそんな強さとやさしさをもった人になってほしいと願っています。

○しばらくすると十一時二分を迎えます。亡くなられた多くの方々への追悼の祈りを捧げるとともに、自分自身が「平和のつくり手」として何ができるか。一人ひとりが深く考える一日にしてください。

以上となります。私なりに南中生へ平和とは何かということを伝えるためのあいさつにしました。きっと平和について理解を深めてくれると信じております。平和集会の詳細は次号**南串中だより第十号**でお伝えする予定です。

あとがき

明日から夏休み後半戦です。お盆シーズンで外出等も増えるかと思いますが、くれぐれも**交通事故、水の事故には細心の注意を払ってください。**九月一日（火）の第二学期始業式では、南中生が充実した夏休みを過ごしていましたという顔つきで登校してくれることを期待しています。

そのためには、南中生たちの中には、耳が痛いと思う人もいるかもしれませんが、夏休みの課題が計画的に進んでいるかも重要になってきます。一学期終業式のときに私からも**宿題は絶対です**と伝えていますので、ご家庭でも、お子様と一緒にご確認いただければ幸いです。

また、各ご家庭でも親戚の方々が訪れたりするかもしれませんが、ぜひ**南串中学校ホームページのことも紹介していただけるとありがたいです。**特に、「南中日記」のコンテンツは更新頻度が高いので、ご覧になっていただければと思います。

本校ＨＰのＱＲコードになります。**「南串中」**で検索しても、大丈夫です。

今日から我が家も家族が久しぶりに揃います。とても楽しみにしています。

令和８年８月９日（日）現在　生徒数　７２名（男子３１名、女子４１名）世帯数　６３世帯